

## 第4章 組織的な守備のために「3. ブラインド対策②ゴレイロ編」

DF編に続き、ゴレイロ編となります。ブラインド時にもあわず、ゴレイロとしてできる最大限のことを行うことで、失点の可能性が減っていきます。

### 【其の1】ポジショニングはそのままに、眼の位置を「横」にずらすのが基本

ブラインド時に、見えないからと言ってポジショニング自体をずらす選手をよく見かけます。もちろん、見えない訳ですから、ポジショニングを動かしてでも見たいのは理解できます。ゴレプロでは、ポジショニングはそのままに「上半身だけ倒し横から覗く形」を基本形と定義します。ポジショニングはあくまで「ボールに対して正対すること」が必要で、これはいかなる時でも変えるべきではないと考えます。

写真①（正面：ブラインド時）



写真②（正面：顔をずらした図）



写真③（ゴレイロ視点：ブラインド時）



写真④（ゴレイロ視点：ずらした図）



～守護神はチームの主軸にして攻撃の起点  
日本初の本格的ビギナー向けGKクリニック～  
ゴレプロ ～Goleiro Professional Clinic～

### 【其の2】下から覗く時は上へのシュートに注意。

ブラインド時に「四つん這い」のような姿勢になり下から覗き込む方法は、特にブラジル人のゴレイロに見られる動きです。確かに一番ボールがよく見える場合が多いので、日本でも多くの選手が用いる手法です。しかし、この四つん這いの状態から、下から上に突き上げるようなシュートが来た場合に対応できるでしょうか？

ゴレプロではやっては駄目という程にはしません、まずは其の1の「横から覗く形」を第一選択とし、それでも見えない場合に下からもOK、と定義したいと思います。下から覗く場合は、ボールを「見る」ことに注力しすぎて、シュートそのものへの対応が遅れないように注意しましょう。特に上のコースへの意識を高く持って行って下さい。

写真①（正面ブラインド時）



写真②（正面下から覗いた図）



写真③（ゴレイロ視点：ブラインド時）



写真④（ゴレイロ視点：下から覗いた図）



～守護神はチームの主軸にして攻撃の起点  
日本初の本格的ビギナー向けGKクリニック～  
ゴレプロ ～Goleiro Professional Clinic～